学校番号	３１８

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）選択書道	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小筆を使って和歌や俳句などを書写し、手書きの写本を制作することで、書の実用性と芸術性の両面を学びます。集中して取り組みましょう。小筆を機能的に扱うことも大切です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報の伝達、記録を支える文字文化と、書の形態の知識を深める。観賞用とされる所の価値や背景などを理解する。小筆を機能的に扱い実生活にも利用できる技能を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
伝統的な「和の美」や「用の美」に対する感性を高める。用具、用材の特性・機能を生かして表現を工夫する。
【学びに向かう力、人間性等】
手書きに必要な時間と労力を惜しまずに集中して書く力を養う。表現する主体としての喜びを見出し、苦しくとも前向きに努力する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味・価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	伝統と書の形態について	・本の形態について ・巻子本から折手本、冊子本への変遷 ・和歌・俳句などの小筆書写による実技演習	a:表現の方法・形式、多様性などについて理解し、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。 b:書の良さや美しさを感受し、手書きの伝統や価値について考える。 c:用具・用材の扱いや姿勢・執筆法についての学習に主体的に取り組む。	提出作品	提出作品	実技態度の観察
2学期	小筆による書写本の制作	・百人一首書写冊子本の制作 ・西行山家集より和歌の書写折手本の制作 ・百人一首より和歌選択色紙はりまぜ屏風	a:用具・用材の特性を理解し、その機能を生かすための基礎的な技能を身につける。 b:書写された和歌が美しく見えるよう表装を工夫する。 c:用具・用材の扱いや姿勢・執筆法についての学習に主体的に取り組む。	提出作品	提出作品	実技態度の観察
3学期	「和の美」と「用の美」	・屏風作品鑑賞会 ・書の実用性と芸術性について	a:書の鑑賞と表現の知識・技能を高める。 b:「和の美」「用の美」に対する感性を高める。 c:用具・用材の扱いや姿勢・執筆法についての学習に主体的に取り組む。		レポート	実技態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度